

科目名	憲法概論 I Introduction to Constitutional Law I						
科目担当者	今枝 昌浩 IMAEDA Masahiro						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 関連科目] 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	憲法とはどのような特徴をもつ法であるか、そして憲法によって人権を保障するとは何を意味するのか、について、日本国憲法（統治編・人権編）を概観することで具体的に学ぶ。						
授業の到達目標	①日本国憲法が規定する制度・仕組みを、文章で具体的に説明できる。 ②憲法に関する基本的な考え方を、文章で具体的に説明できる。						
授業計画・内容	1	イントロダクション					
	2	憲法とはどのような法か					
	3	国政システムの概観					
	4	国会（1）地位と役割					
	5	国会（2）両院制					
	6	国会（3）国会議員					
	7	内閣（1）権限と役割					
	8	内閣（2）国会との関係					
	9	裁判所（1）権限と役割					
	10	裁判所（2）違憲審査権					
	11	天皇制と国民主権					
	12	平和主義					
	13	財政					
	14	地方自治					
	15	前期授業のまとめ					
授業外学修 (事前学修)	事前にアップロードする資料（レジュメ）および教科書の該当頁に目を通しておくこと（毎週2時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	授業内で行った、あるいはレジュメに記載されている、問い掛けに対して自身の言葉（文章）で答えられるようにしておくこと（毎週2時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	授業内での「小テスト」および授業参加姿勢 定期試験				20% 80%	①② ①②	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	初宿正典・大沢秀介・高橋正俊・常本照樹・高井裕之・上田健介『目で見える憲法』第6版（有斐閣・2024年）						
参考文献	池田真朗・宮島司・安富潔・三上威彦・三木浩一・小山剛・北澤安紀（編集代表）『法学六法'24』（信山社・2023年）						
その他	この授業は、指定教科書を前提としたレジュメ配布による講義を行います。また、理解状況を確認するため、折に触れて問い掛けをしたり、「小テスト」を実施します。単に知識として覚えるのではなく、自身の言葉で「説明できる」ことを意識して下さい。なお、授業内での問い掛けに対する挙手による応答・発言（授業参加姿勢）は積極的に評価します。						